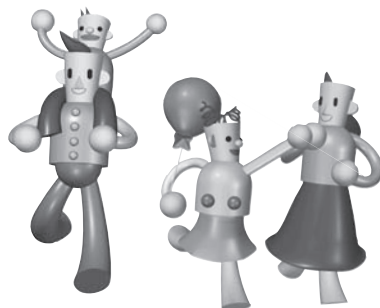


隣保館だより

編集 下榎隣保館 〒689-4526 日野町下榎157番地1
電話：72-1191 (FAX 兼)
E-mail：rinpokan@town.hino.tottori.jp



一人一人と向き合って育てる

4月12日、米子市淀江文化センターで、2011年度西部地区隣保館集会所等職員連絡協議会総会が開かれ、参加しました。総会終了後、「幼保小連携の子育て」と題して、日吉津村教育委員会指導主事の矢倉美和子さんが講演されました。

鳥取県教育基本計画の「自立した心豊かなひとづくり」を基に、現在の子どもをとりまく現状、「連携」から見えること、子どもに関わる大人として何が必要なのか、について話されました。

子どもにも、元気な子、病気の子、さまざまな子どもがいる。その一人一人と向き合って、育てていくことは、親や大人の都合や時代の流れ、社会の状況の変化により変わるものではなく、まずは、子どもの立場に立って子どもたちから「教えてもらう」という意識が必要と説明され、とりまく環境は変化しても、子どもたちの「だっこしてほしい」、「一緒に遊んでほしい」、「話を聞いてほしい」という感情は変わらないものであるという話が心に残りました。

自分に何が出来るのかを考え、子どもたちのかかわり方について改めて考える機会をいただいた研修となりました。



平成23年度ぽかぽか教室日程

(健康福祉課主催)

- 6月8日 =健康相談
- 10月12日 =お口の健康チェック
- 12月15日 =料理
- 2月2日 =心の健康とうつ病の早期発見について

6月の学習講座予定

- セラバンド体操【会場：老人憩の家】
講師 ▼ 高橋伸也さん
日時 ▼ 6月8日(水) 午前10時
 - 生け花(草月流)【会場：下榎集会所】
講師 ▼ 生田清子さん
日時 ▼ 6月25日(土) 午後1時30分
 - クレイフラワー【会場：下榎集会所】
講師 ▼ 妹尾仁津美さん
日時 ▼ 1回目 5月30日(月) 午後1時
2回目 6月6日(月) 午後1時
3回目 6月20日(月) 午後1時
- ※材料代、参加申込みなど詳しくは、隣保館(電話72-1191)にお問い合わせください。

平成23年度 部落解放・人権尊重標語の募集

人権尊重の意識高揚をめざして、町内の小学校・中学校・高校の児童生徒や町民の皆さんから「部落解放・人権尊重標語」を募集しています。

人は誰でも「幸せに生きる権利」を持っていきます。人権を守るためにしていきたい事や思いを標語にしてみませんか。

皆さんの作品をお待ちしています。

▼応募用紙に指定はありません

(作品・住所・氏名を記入してください)

▼募集締切 6月20日(月)

▼提出先 下榎隣保館、町教育委員会、町公民館

※入選者には、賞状・記念品を贈呈するほか、入選作品を広報ひのなどで紹介します。

2010年度小地域座談会を終えて（第2部）

今月号では、4月号で紹介できなかった小地域座談会の開催状況をご紹介します

話し合いの内容・方法

町人権・同和教育研究集会の統一テーマ『人権尊重のまちづくりをしよう』～助け上手、助けられ上手～をもとに、部落差別やさまざまな人権課題について話し合われました。

人権課題等	教材	題名等	地区数
高齢者の生きがい、家族のきずな	DVD	夢のつづき	4
山間集落、高齢者の暮らし	DVD	あいきょう「ひまわり号」 (高齢者の地域暮らしの見守り・支援)	25
生活の中の課題	DVD	山本家の場合 (男と女、仏滅、鬼門、縁談と釣書)	2
高齢者の人権	DVD	老いを生きる(認知症問題と地域) 明日はわが身(介護と家庭、地域)	2 1
家庭内暴力(DV)	DVD	いのち輝くとき (家庭内暴力と地域の支えあい)	4
高齢者の生活	—	高齢化社会と安心・安全な地域づくり	1

364人が参加

参加者は、364人で、年々減少傾向です。男女の割合では男性57.4%、女性41.3%でした。また、年代別では、60代が38.8%、70代が38.5%となり、若い年代ほど低く、最も低いのは20代の0.3%でした。

参加者の減少理由としては、一世帯で1人の参加という通例が定着していることと、併せて高齢者世帯の増加によるものではないかと思われます。

座談会へはぜひ、夫婦や親子でご参加ください。

初めて参加が55人

初めて	2~4回	5回以上	無回答
55人 [17.6%]	116人 [37.2%]	141人 [45.2%]	0人 [0%]

座談会参加者は、例年5回以上の参加者が最も多いのですが、今回、17.6%の人が初めて参加されています。参加したことが無いあなたもぜひ、参加してみませんか。

開催時間は？

座談会は1時間30分程度を目安としています。これに対しては89.7%の人が「ちょうど良い」と感じておられますが、開催する自治会の実情によって、時間の調整も可能です。

今後の座談会のテーマは？

「今後はどんなテーマで話したいですか？」の問いには、高齢者の人権が最も高く、地域の問題、病気の人、障がい者、女性、子ども、同和問題などとなっています。

理解できた！大変良かった！

話し合いの内容では、「よくわかった」、「まあまあ」と回答した人が94.5%でした。

また、「自分にとってはどうだったか？」の質問には、「大変良かった」、「よかった」と回答した人が73.8%、「まあまあ」を加えると94.6%と高くなっています。

座談会は『人権尊重のまちづくり』への第一歩

さまざまな人権について話し合い、共感、理解しあって安心・安全で暮らしやすい地域社会づくりをめざすことが大切です。高齢者だから、障がいや病気だからとか、女性だから、子どもだから、はたまた被差別地区の人だからなどと、特別視して邪魔者扱いされたり、無視されたり、見過ごされたりして切り捨てられる社会は誰にとっても不幸です。

誰もがかけがえのない社会の大切な一員として認められ、一人ひとりが希望を持って心ゆたかに暮らせる『人権尊重のまちづくり』のため、人との関わり方や地域のあり方・課題についてみんなで話し合うことがますます必要と思います。

小地域座談会はこのような視点で、より安心・安全な暮らしをめざす第一歩です。本年度もみんなで語り合える座談会の開催をお願いします。

さまざまな人権について話し合い、共感、理解しあって安心・安全で暮らしやすい地域

▶日野町人権・同和教育推進協議会総会の模様は次回に紹介します